

テーマ：『 地域とのつながりを大切にした環境教育 』

鹿沼市立 清洲第二小学校

Tel. 0289-75-2662 担当者： 高杉 繁行



■実践内容:

本校では栽培活動の多くを保護者や地域の方々の協力を得て活動を行ってきた。「田植え」・「稲刈り」には PTA 役員や保護者に協力をいただいた。また、各学級の農園(畑)では、児童の祖母等の指導を受けて栽培活動を行ってきた。ここで収穫したものは「清二小祭り」と称して収穫祭を行い、取り組みの様子を保護者や高齢者に発表したり、お店ごっことして収穫した作物を加工したりして出店し合う。毎週水曜日の清掃の時間「クリーン・デー」には、校庭や農園の除草活動を全校児童で実施し、環境美化にも努めた。農園活動とは別に、地域のお囃子保存会の方々にはクラブ活動や夜間の練習で指導を受け、地域の盆踊りや運動会・音楽会で演奏する機会を得た。環境保全に直接つながる活動としては、5年生による「ケナフ」栽培、児童会主催による「アルミ缶回収」、「牛乳パック回収」、毎学期実施した「クリーン作戦」(主に通学路のごみ拾い)、PTA の協力を得て児童と共に廃品回収を実施した。

■実践成果:

このような活動を通し、地域の自然や環境を守るとともに資源を大切にするという心情や態度が育ってきている。また、社会科や理科・家庭科等の教科や総合的な学習の時間を通して環境保全に対する知識も豊富になってきた。今年度実施された、市の温暖化防止のためのCO2削減のための家庭での取り組みには5・6年生全員が参加し、自分ができる工夫を自発的に行うことができた。

■実践ポイント:

環境保全・自然との共生には、自主的・自発的な参加態度が重要である。そのような態度を育成するために、児童の身近な生活に密着した内容を取り上げた。その結果、自分たちの活動の成果を確認でき、継続して活動に参加できた。